

会社説明資料

株式会社

平賀



平成22年12月

基本方針

皆さまの暮らしがもっと豊かになるように。
私たちは販売促進活動を通じて、
心と心を結ぶ架け橋になりたいと考えます。

会社概要

- ・ 設 立 : 昭和31年1月 (1956年 1月)
- ・ 代 表 者 : 代表取締役社長 中村 則丈
- ・ 資 本 金 : 434,319千円 (2010年 3月)
- ・ 従業員数 : 286名 (2010年 3月)
- ・ 事業内容 : 折込広告・包装資材・その他
- ・ 株式関係 : 発行済株式総数 4,015,585株
株主数 617名 (2010年 3月)

沿 革

創業 昭和25年6月／設立 昭和31年1月

(製 造 設 備)	昭和39年 9月	埼玉県新座市に工場移転
	昭和47年、48年	オフセット輪転機導入
	昭和61年 3月	IP1000導入
	平成 6年 7月	ネットワークシステム構築
	平成 8年 4月	第三ビルデジタル館開設
	平成12年 4月	原稿作成支援システム構築 (HIRAGA Manuscript Creation system)
	平成12年 6月	工場集約のため第一工場増設
(本 社 業 務)	平成16年 9月	C T P印刷設備設置
	昭和40年 2月	株式会社平賀に商号変更
	昭和44年 9月	高崎支店開設
	昭和51年 5月	本社移転 (現 第二ビル)
	昭和62年12月	仙台支店開設
	平成 3年 9月	本社ビルを新設し、本社業務移転
	平成12年10月	ジャスダック証券取引所に上場
	平成18年10月	株式会社イマージュの株式を100%取得子会社化
	平成19年 5月	大阪支店開設

※注 平成22年4月1日付で、ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所（JASDAQ市場）に上場となっております。



事業戦略

当社グループは折込広告の製造販売を中心に全ての販売促進物を取り扱っております。激化する企業間競争において、当社の強みである短納期対応力と価格対応力に広告効果のある総合企画提案力を発揮させ、チラシを中心に、Web上で閲覧できるインターネットチラシに携帯電話機能も加えた「デジム」の提案を推進し、当社グループで取り扱うシール印刷、ノベルティーグッズ、のぼり、店内案内やキャンペーンなど販売促進活動そのものを企画提案して受注拡大に邁進して行きます。

また、売上高の平準化を実現させるために、あらゆる業種から紙及び各種素材の印刷や総合的な販売促進の企画提案により新規顧客を開拓し、技術進化に対応することで更なる生産力の向上に向け、短期納入及びコスト低減を図りながら、企業間競争に対応できる基盤の充実を図ってまいります。

平成22年度 スローガン

「融合から 生みだせ新市場」

平成22年度は、「融合から 生みだせ新市場」 をスローガンとして、当社グループは一丸となってお客様の求めている新たなサービスを提供できるよう邁進いたします。

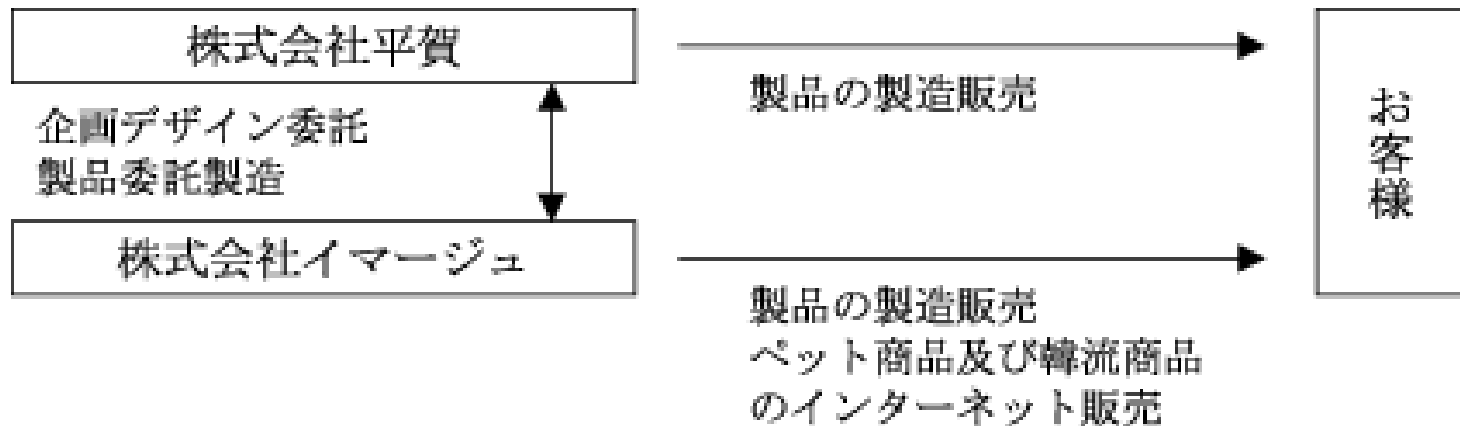
事業内容

印刷事業

- ・折込広告：チラシ（新聞折込、その他）
- ・包装資材：包装紙・紙袋（ショッピングバッグ）
- ・その他：ダイレクトメール・POP・カタログ他

その他の事業

- ・インターネット販売（ペット向け商品、韓流関連商品）



製品 1

チラシ・袋・POP



IRチラシ



特殊印刷



製品 2

シンプル操作のデジタルチラシ・カタログ制作&更新サービス

デジタルチラシ・カタログ「デジム」は、従来よりチラシやカタログなど幅広く利用されてきた紙媒体をそのままインターネットで公開・閲覧することが出来るシステムです。



「デジム」は商品の細部まで鮮明に表示する驚きの高画質で、拡大箇所のみ高解像度データを高速表示でき、使いやすさを重視したわかりやすい操作方法です。

また、ショッピングサイトをお持ちであれば「デジム」との連携により紙面の商品をクリックして直接販売が可能です。



既存の印刷物データが有効利用でき、企画段階から印刷物とWebページを同時に作成する事で、宣伝広告費の圧縮に繋がり、さらに紙媒体などの印刷物では実現することが出来ない様々な機能を追加することが出来ます。



「デジム」はメーカーサイトやレシピなどへのリンクを設定することで、様々な情報を発信することもできます。



営業拠点

東京都練馬区 本社ビル



第二ビル別館



埼玉県新座市 埼玉工場



第三ビルデジタル館



仙台支店	宮城県仙台市
高崎支店	群馬県高崎市
大阪支店	大阪府大阪市

関係会社の状況

- ・ 名 称 : 株式会社イマージュ
- ・ 設 立 : 昭和55年 5月 (1980年 5月)
- ・ 代 表 者 : 代表取締役社長 中村 則丈
- ・ 資 本 金 : 10,000千円 (2010年 3月)
- ・ 従業員数 : 96名 (2010年 3月)
- ・ 事業内容 : 広告デザインの企画印刷請負他

関係会社 営業拠点

大阪市天王寺区
本社ビル



和歌山県日高郡
和歌山工場



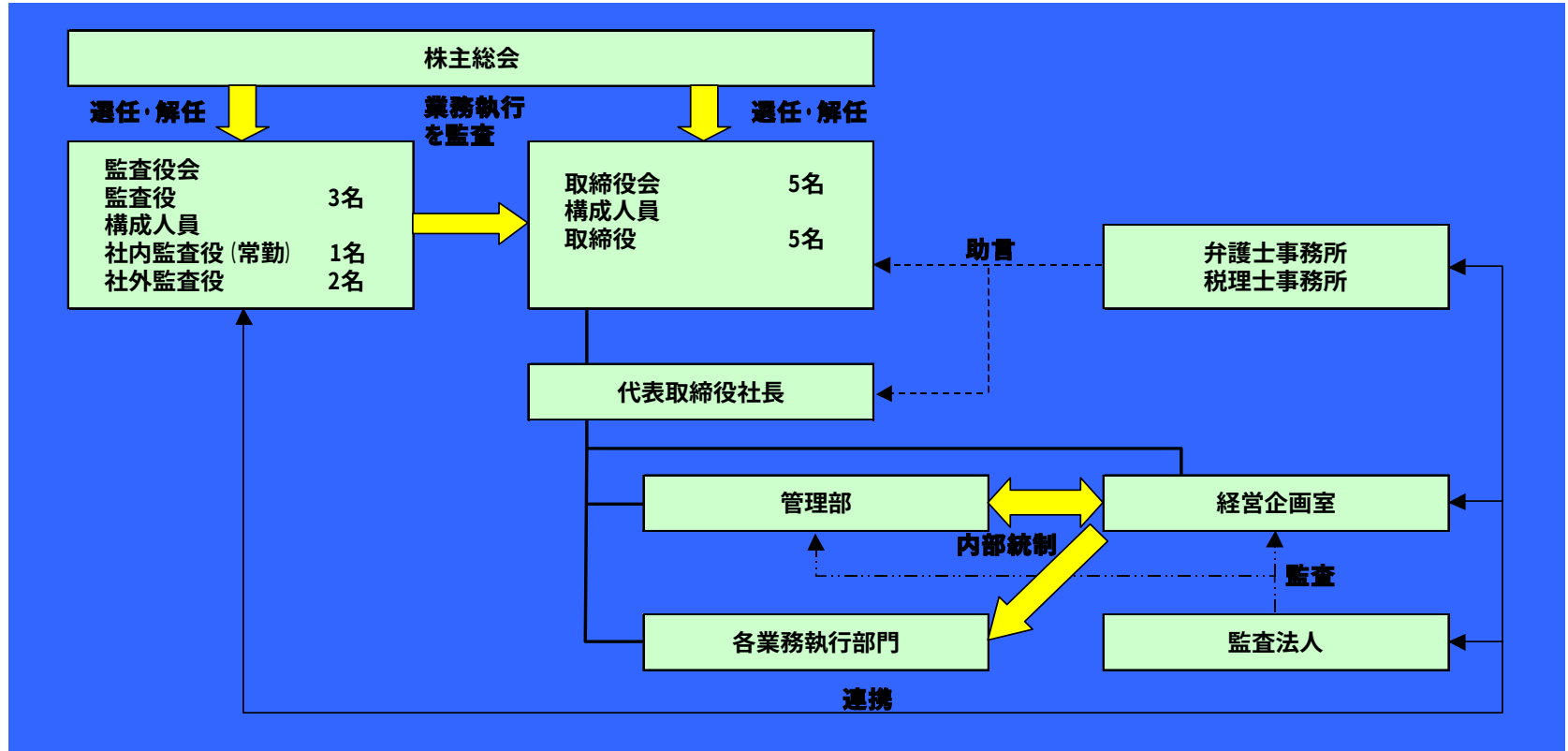
東京営業所
札幌営業所
配送センター

東京都台東区
札幌市中央区
大阪市東成区

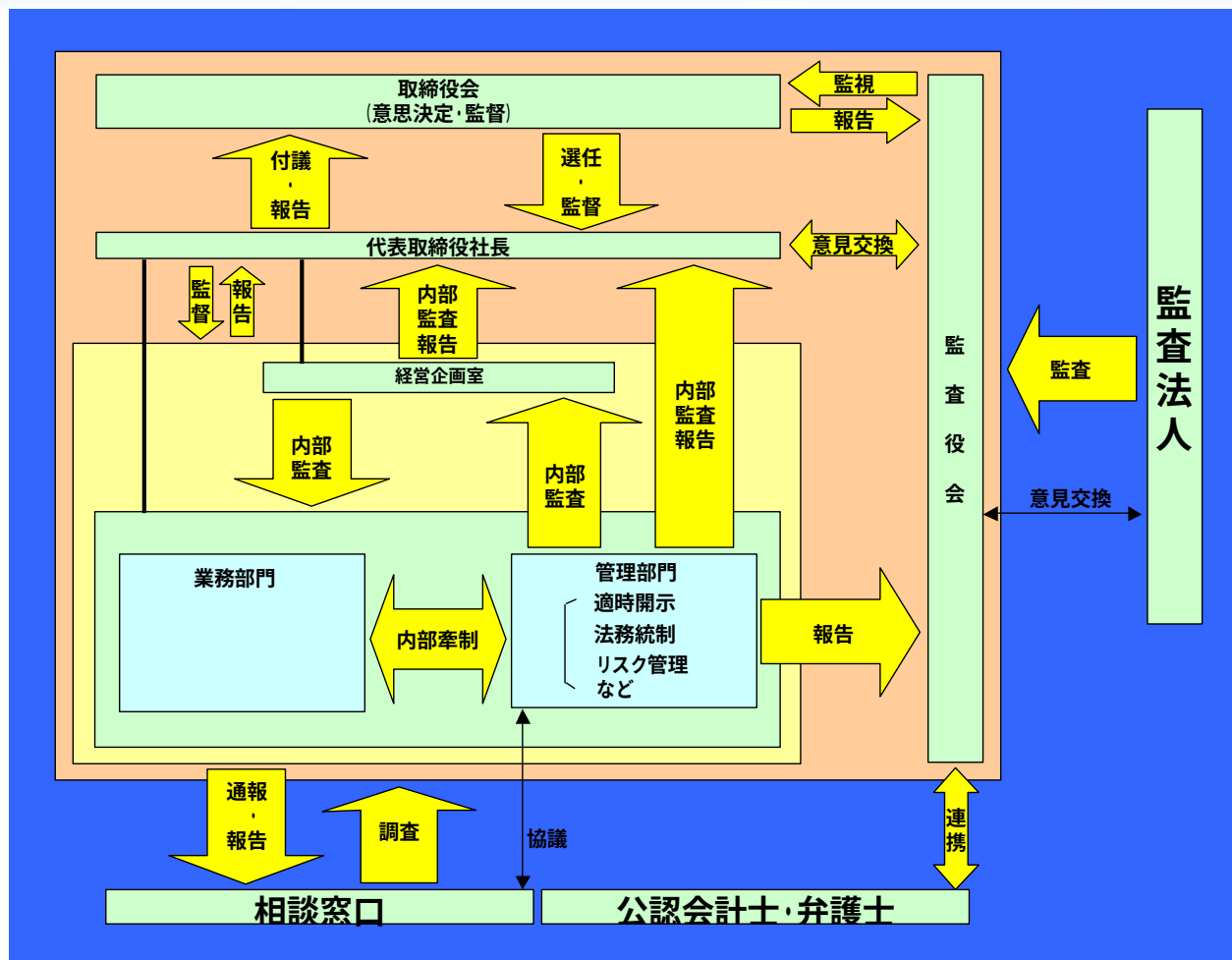
株式会社 平賀



コーポレート・ガバナンス



内部管理体制の整備・運用状況

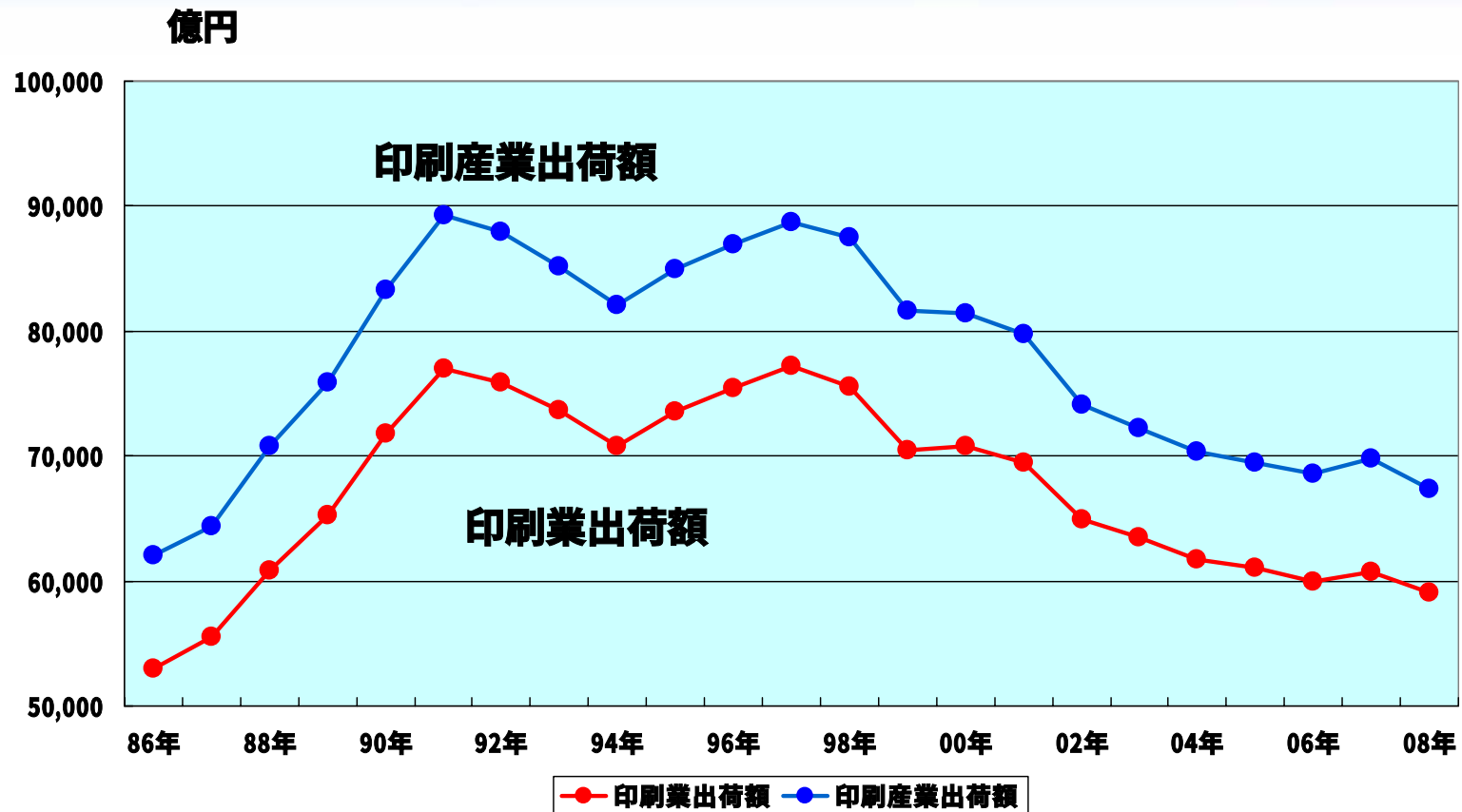


コンプライアンスへの取り組み

平賀では、皆さまの信頼と期待に応えるためコンプライアンスを経営の最重要課題の1つとして位置づけ、企業価値の向上に努めるとともに、健全で透明性のある企業経営を目指します。

本年度平賀では、コンプライアンスや企業倫理を守って働くためのガイドラインを行動指針としてまとめ、社員全員で周知徹底してまいります。そのため、勉強会を定期的に行い全員で話し合い、コンプライアンスへの理解を深め、共に行動できる職場作りを目指します。

印刷業界市場規模



印刷産業（印刷＋製版＋製本＋印刷物加工＋印刷関連サービス）

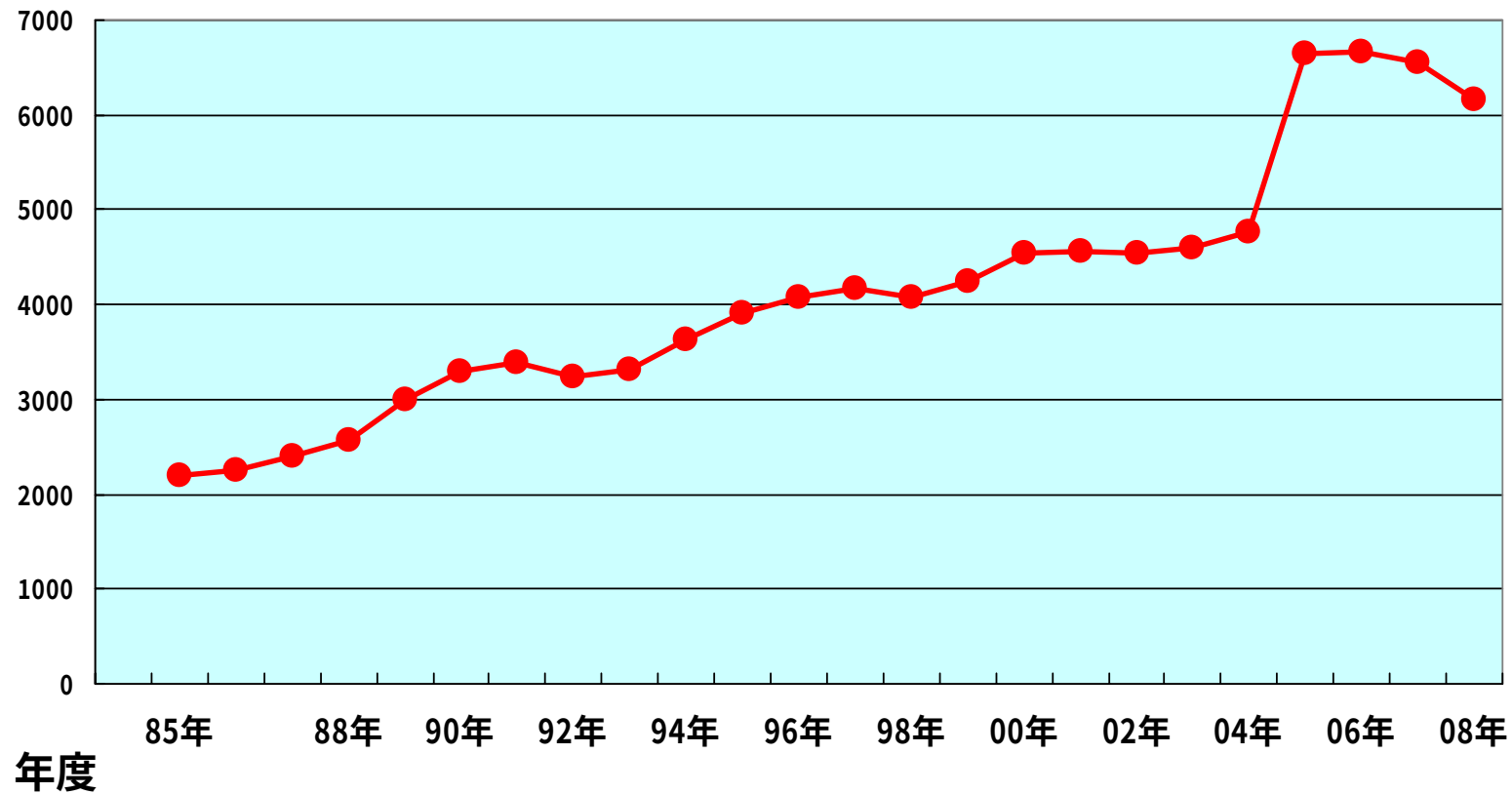
工業統計より

株式会社 平賀



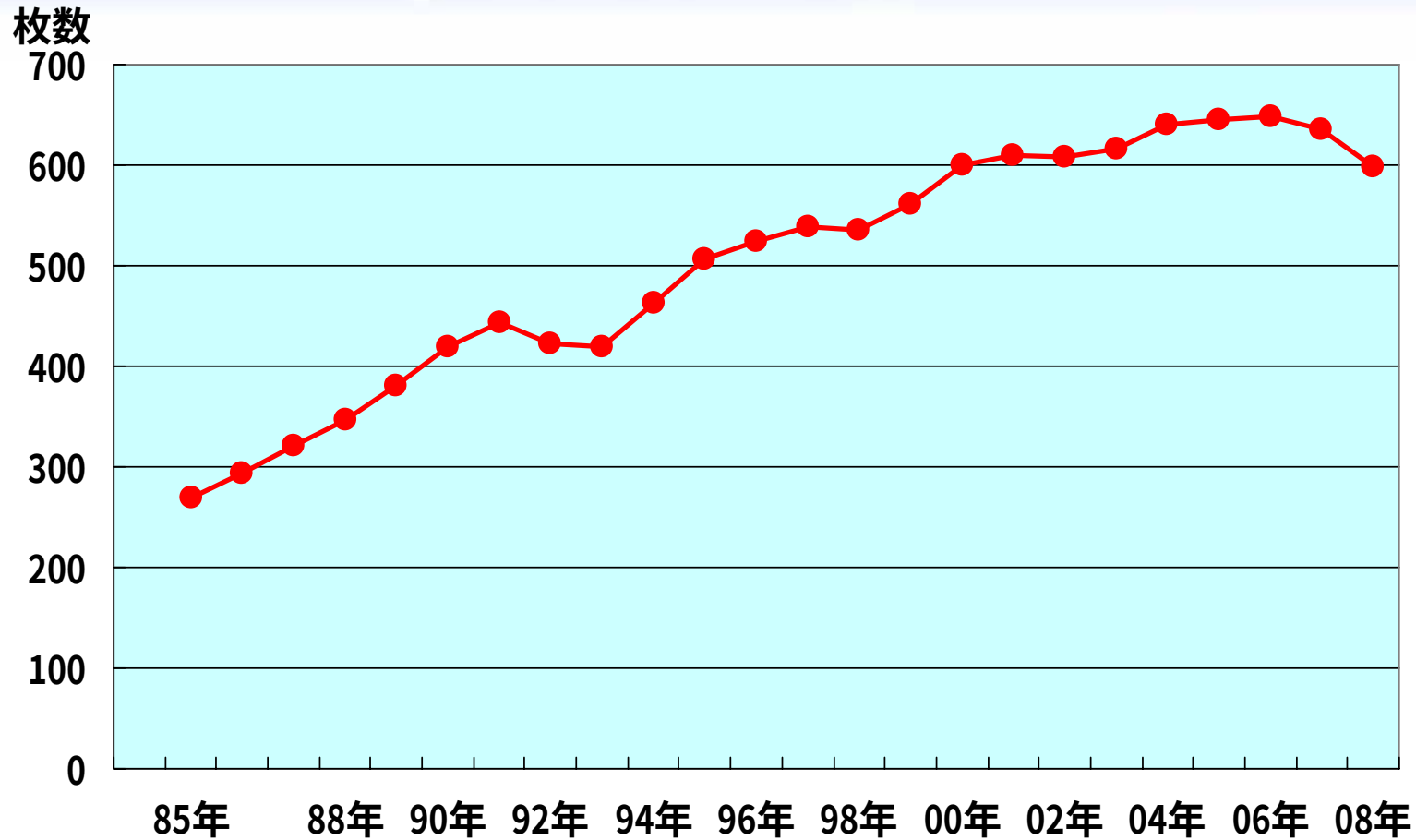
折込広告配布料

億円



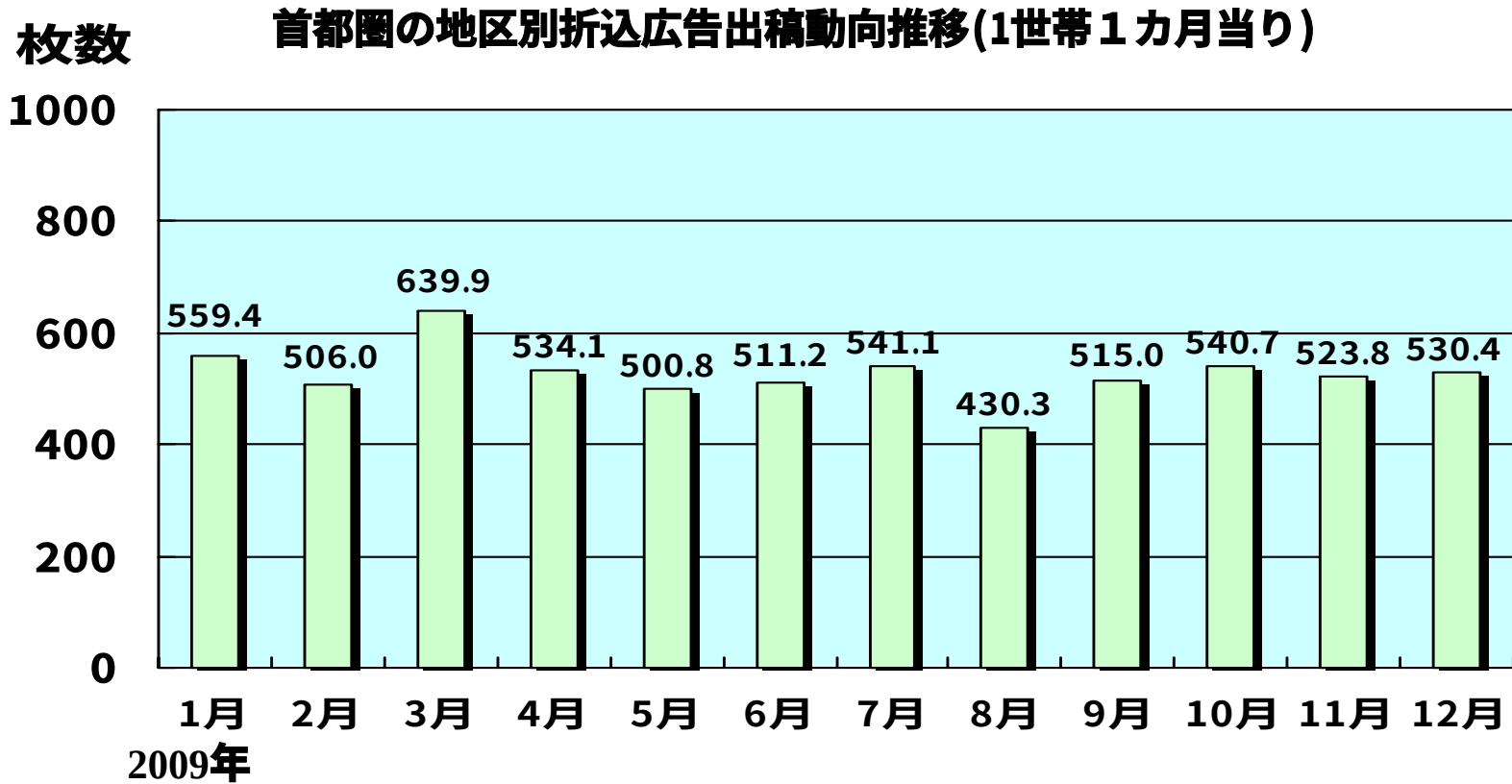
電通「日本の広告費」より

折込チラシ1世帯当たり月間平均折込枚数



読売インフォメーションサービス
「首都圏月間折込広告調査」

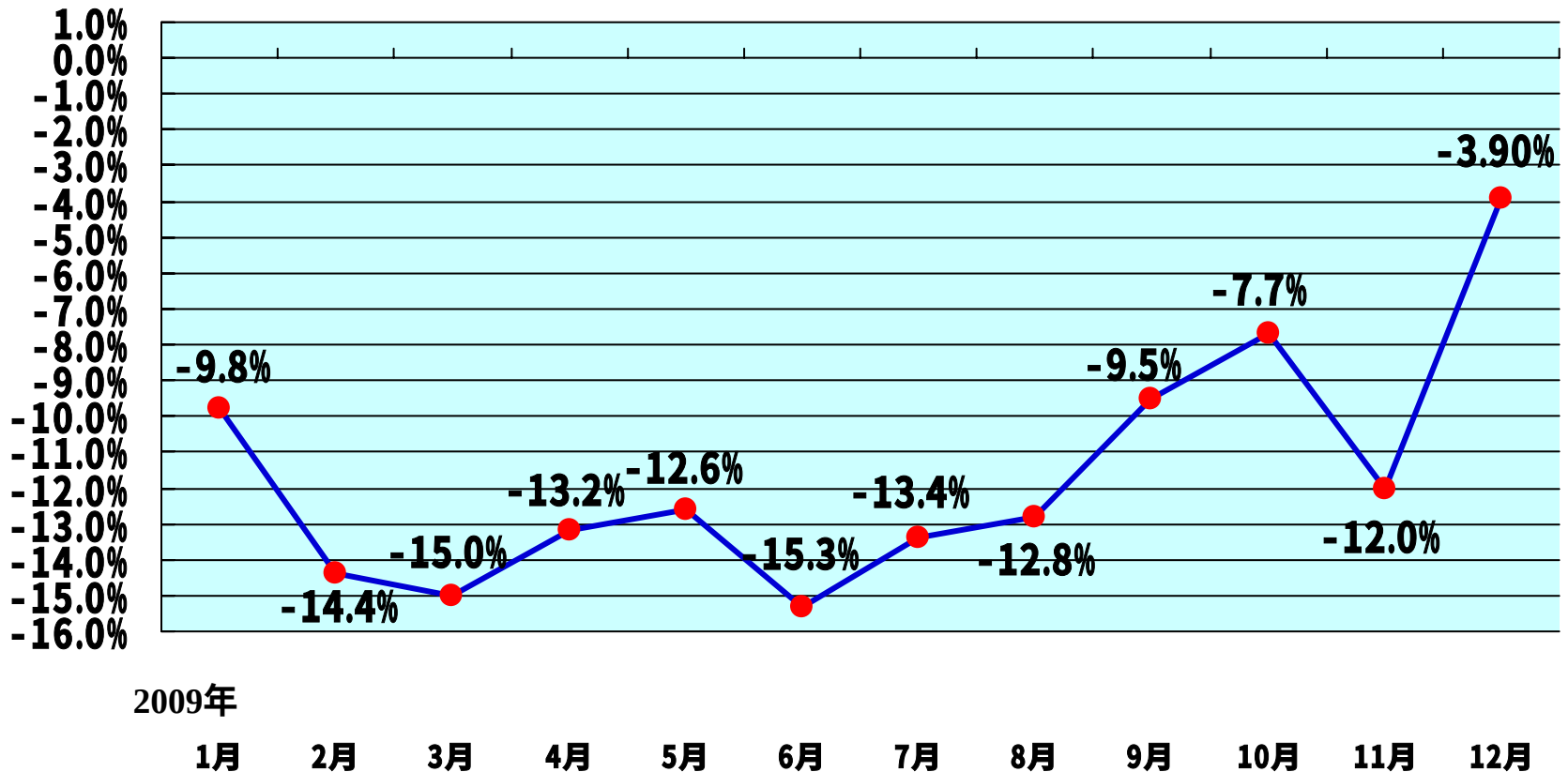
首都圏折込広告出稿動向推移



読売インフォメーションサービス
首都圏折込広告出稿

首都圏折込広告出稿動向前年対比

首都圏の地区別折込広告出稿動向推移(1世帯1カ月当り)



2009年

読売インフォメーションサービス
首都圏折込広告出稿

平成22年3月期(第55期)業績予想

連結予想

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	8,921	233	314

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 85円23銭

個別予想

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	7,300	204	286

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 77円64銭

(注) 今後の経営情勢などさまざまな状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

会社業績 1

連結貸借対照表

第55期 (平成22年3月31日現在)

区分	金額(千円)	区分	金額(千円)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,856,690	流動負債	3,142,320
固定資産	2,232,792	固定負債	835,939
有形固定資産	1,643,850	負債合計	3,978,259
無形固定資産	36,935	(資本の部)	
投資その他の資産	552,007	純資産合計	1,111,223
資産合計	5,089,483	負債純資産合計	5,089,483



会社業績 2

連結損益計算書

	平成22年3月期 自 平成21年 4 月 1 日 至 平成22年 3 月31日	
	金額(千円)	構成比(%)
売上高	9,095,054	100.0
売上総利益	1,871,988	20.6
営業利益	△ 38,777	△ 0.4
経常利益	△ 60,394	△ 0.7
当期純損失	△ 355,366	△ 3.9

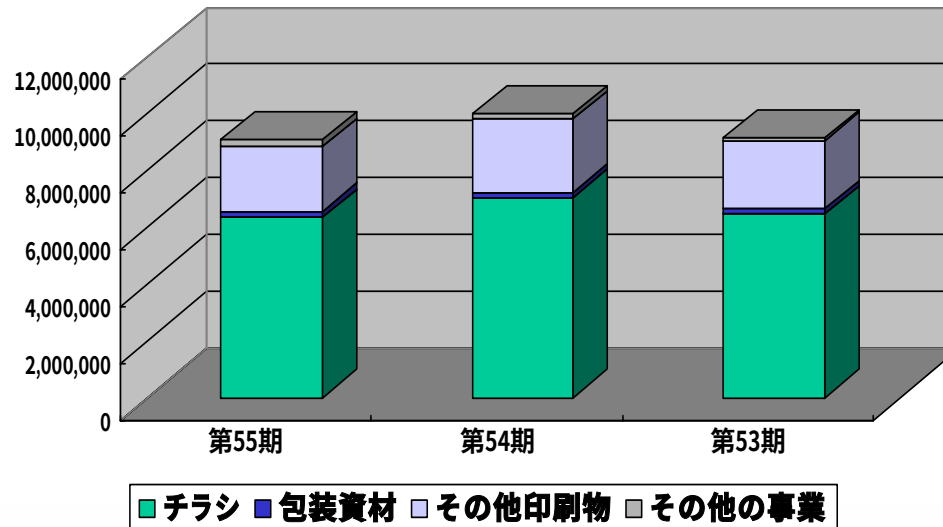


製品別売上高推移

連結会計年度

単位：千円

	第55期	第54期	第53期
印刷事業			
折込広告	6,367,660	7,058,681	6,489,695
包装資材	192,728	195,072	189,264
その他印刷物	2,301,623	2,576,907	2,377,488
計	8,862,012	9,830,661	9,056,448
その他の事業	233,042	171,996	94,652
合 計	9,095,054	10,002,658	9,151,101



キャッシュ・フローの状況

単位：千円

	第55期	第54期	第53期
営業活動による キャッシュ・フロー	789,987	453,671	△ 700,937
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 315,417	△ 398,358	75,366
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 521,142	229,251	△ 150,233
現金及び現金同等物 期末残高	871,194	917,960	634,995

	第55期	第54期	第53期
自己資本比率 (%)	21.8	22.3	41.0
時価ベースの 自己資本比率 (%)	21.8	22.3	34.2
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	2.2	4.8	—
インスタント・ ガバレッジ・レシオ (倍)	22.8	15.6	—



事業等のリスク

- 内部統制で重要な不備を出すこと
- 特定の製品への依存度が高いこと
- 特定取引先への依存度が高いこと
- 印刷業界における競合
- 用紙価格の変動と供給
- 情報システムとセキュリティ

株主還元・資本政策

会社の利益配分に関する基本方針

- ・ 利益還元

株主に対する安定的な配当に寄与し、利益還元を充実させること。

- ・ 内部留保

企業体質の強化及び将来の利益確保のための配慮、事業の拡大と財務体質の強化。

配 当 実 績

第 5 1 期 平成18年 3 月期	第 5 2 期 平成19年 3 月期	第 5 3 期 平成20年 3 月期	第 5 4 期 平成21年 3 月期	第 5 5 期 平成22年 3 月期
30.00	30.00	30.00	30.00	30.00

投資単位の引き下げに関する考え方及び方針

- ・ 個人投資家層の拡大並びに株式流通の活性化を図るための有効な施策であることを認識しております。
- ・ 業績、市場の要請等を勘案し、その費用並びに効果等を慎重に検討した上で、株主利益を基本として決定してまいりたいと考えております。

株価の推移

単位：円

回次	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期	第55期
決算年月	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
最高	930	905	855	830	585	455
最低	682	760	725	510	345	358

